

衆議院内閣委員会ニュース

平成 30.5.16 第 196 回国会第 16 号

5 月 16 日（水）、第 16 回の委員会が開かれました。

1 議案の撤回許可に関する件

- ・ギャンプル等依存症対策基本法案（中谷元君外 5 名提出、第 195 回国会衆法第 2 号）の撤回を許可することに決しました。

2 環太平洋パートナーシップ協定の締結に伴う関係法律の整備に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 62 号）

- ・茂木国務大臣、越智内閣府副大臣、村井内閣府大臣政務官、岡本外務大臣政務官、堀井学外務大臣政務官、野中農林水産大臣政務官、上月農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。
- ・農林水産委員会と連合審査会を開会することに協議決定しました。

（質疑者及び主な質疑内容）

古賀篤君（自民）

- ・ T P P が農林水産分野に与える影響を踏まえ、今後の国内農政に対する所見を上月農林水産大臣政務官に伺いたい。
- ・農林水産物・食品の輸出総額の現状及び平成 31 年の農林水産物・食品の輸出額 1 兆円目標の達成に向けた課題を伺いたい。
- ・今後、T P P を展開していく中、食料自給率向上の観点からの輸出促進策について伺いたい。

西田昭二君（自民）

- ・米国が離脱した T P P 11 協定の意義及び同協定の早期発効の必要性について茂木国務大臣に伺いたい。
- ・米国が T P P から離脱したことにより、海外需要の伸びが限定的になるのではないかと不安の声について、政府の認識を伺いたい。
- ・第 183 回国会の衆参両議院農林水産委員会において、T P P 協定交渉参加に関する決議が行われたが、政府は、T P P 11 協定も同決議の射程に含まれるとの認識の下で交渉に当たったのか伺いたい。

高木啓君（自民）

- ・ T P P 12 から米国が離脱した後、新たに T P P 11 の仕組みを作ることとした理由・意義を国民に分かりやすく説明すべきだと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・我が国において G A P（農業生産工程管理）認証の取得

が進まないが、政府及び公的機関が抱える課題について、政府の見解を伺いたい。

- ・我が国として今後どのような理想や将来構想をもって T P P 11 を推進していくのか、越智内閣府副大臣の決意を伺いたい。

浜地雅一君（公明）

- ・カナダ及びニュージーランド以外は E P A が締結済みである中、T P P 11 の発効による各国ごとのメリットのうち特徴的なものがあるのかについて伺いたい。
- ・今回の T P P 11 においては、著作権の保護期間の延長、審査遅延に基づく特許権の存続期間の延長等が凍結されたが、改正案では凍結せず実施することとしている理由について伺いたい。
- ・民主化プロセスに不透明な部分のあるタイが、今後 T P P に参加することとなった場合における日本の果たすべき役割について、茂木大臣の見解を伺いたい。

濱村進君（公明）

- ・今回の T P P 11 の締結が我が国にもたらすチャンス及びメリットについて、越智内閣府副大臣の所見を伺いたい。
- ・中小企業の海外展開を困難としている権利侵害への対応に伴う高額な費用負担等の諸課題に対する政府の取組について伺いたい。
- ・今般の海賊版サイトに対する緊急措置では、I S P（インターネットサービスプロバイダー）事業者に対する遮断要請ではなく自主判断に任せるとしているが、今後の

法整備に係る検討の方向性を伺いたい。

串田誠一君（維新）

- ・インターネット上の海賊版サイトのブロッキングに関して各省庁の所管がどのようになっているのか、政府に伺いたい。
- ・TPP11において著作権等の保護期間に係る規定が凍結されている一方で、我が国において著作物等の保護期間を延長することとした理由について政府に伺いたい。
- ・TPP11において、アクセスコントロールに係る規定が凍結されることとなった理由について政府に伺いたい。

玉城デニー君（自由）

- ・TPPから米国が離脱することによる経済的な影響が大きいことから、TPP11の締結に伴う国内法の整備について、今回のような法改正ではなく新たに個別の法案を提出し、十分な審議をすべきであると考え、茂木国務大臣の見解を伺いたい。
- ・TPP11において、米国の脱退に伴う凍結22項目を設けていることは、米国がTPP11に復帰することを想定した措置であるのか、茂木国務大臣に伺いたい。
- ・我が国から、TPP11の枠を超えた日米FTA等の事前協議を公式・非公式問わず米国に求めた経緯はあるのか、堀井外務大臣政務官に伺いたい。

福田昭夫君（立憲）

- ・TPPにおいて採用されたネガティブリスト方式、ラチェット条項や規制の整合性に関する規定、交渉参加に当たっての秘密保持に関するルールはTPP11にも引き継がれたのか、政府に伺いたい。
- ・TPPとTPP11の発効要件及び正文の違いについて茂木国務大臣に伺いたい。
- ・TPPでは、発効から7年後に関税等について相手国からの要請に基づき再協議するとの規定があったが、TPP11においてもこれは同様であるのか、政府に伺いたい。

大河原雅子君（立憲）

- ・TPP11はTPPと比較して、どこが包括的で先進的なのか、茂木国務大臣の見解を伺いたい。
- ・TPP11になっても我が国の食の安全保障や食料主権は守られるのか、茂木国務大臣の見解を伺いたい。
- ・輸入に頼る日本の食の現状及び食料自給率の目標について政府の見解を伺いたい。

森山浩行君（立憲）

- ・TPP11の意義、国内産業への影響及び海外事業や輸出の拡大の規模について茂木国務大臣に伺いたい。
- ・TPP11の凍結項目に関する法改正規定について、TPPが発効するときに施行するとしていたが、TPP11が発効とともに施行することとしたのはなぜか、政府に伺いたい。
- ・米国が参加していない中で凍結項目に係る法改正規定を施行してしまうと、米国との交渉のカードを失うことになってしまうのではないかと、政府の見解を伺いたい。

吉良州司君（国民）

- ・米国がTPPに復帰することの是非及びその可能性について茂木国務大臣の見解を伺いたい。
- ・米国にTPPへの復帰を促すに当たっては、米国の産業構造を理解し、復帰のインセンティブについて説明する必要があると考え、茂木国務大臣の見解を伺いたい。
- ・TPPにおいて農産物の関税を撤廃し、農産物の生産に対して農家に直接支払することにより、消費者、農業従事者及び産業の三者がそれぞれメリットを受けることができると考えているが、この三方一両得の考え方についての茂木国務大臣の見解を伺いたい。

中川正春君（無会）

- ・米国との通商交渉について、今後2国間で交渉をするのか、TPPに引き込み多国間で交渉するのか日本政府の方向性を茂木国務大臣に伺いたい。
- ・日米2か国間交渉では、日本を含めTPP11加盟各国に不利益にならないよう、TPP11で合意した内容以上のことは認めない前提で行うのか、茂木国務大臣に伺いたい。
- ・ハガティ駐日米国大使が、茂木国務大臣とUSSTRとの協議に大きな進展があったとコメントしたとの報道があるが、その中身について茂木国務大臣に伺いたい。

塩川鉄也君（共産）

- ・トランプ米国大統領が2国間の通商交渉を行おうとしている政治的意図について政府はどのように認識し、分析しているのか、岡本外務大臣政務官に伺いたい。
- ・FFR（自由で公正かつ相互的な貿易取引のための協議）と、日米経済対話の関係及び相違について、茂木国務大臣に伺いたい。
- ・FFRの課題として、自動車、医療機器、牛肉、知的財産といったあらゆる分野が議論の対象となるのか茂木国務大臣に伺いたい。